

徳島県の災害ケースマネジメントを どう進めていくか?

日時：2026年3月15日(日) 13:00～16:30

場所：徳島大学地域創生・国際交流会館5階 フューチャーセンターA.BA (徳島市南常三島町1丁目1番地)

近年、自然災害が毎年のように全国各地で発生し、生活再建が困難な被災者が多数発生している中、被災者への支援方法として、“被災者一人ひとりに寄り添い、個別の被災の影響を把握することから支援計画を立て、施策をパッケージングして支援を実施していく仕組み”として「災害ケースマネジメント(DCM)」が実践されています。徳島県ではこれまでにDCMを盛り込んだ条例改正や県の手引書作成を行い、官民連携による体制構築や人材育成等に取組んでいます。第4回目となる今回は、2024年能登半島地震等の全国被災地において、被災者の生活再建のための相談活動を実施している永野海弁護士から、自身が開発した「被災者生活再建カード」を用いて、被災者支援に必要な最新の制度やマインドについて学び、徳島での実践について考えます。

令和7年4月版 被災者生活再建カード

被災者生活再建カード © 井戸野永野 海

参考
カードは予め全て切らず、貼る直前に必要なカードだけを切って使うことをおすすめします。



講師プロフィール

日本弁護士連合会
災害復興支援委員会 副委員長

永野 海 氏

弁護士／防災士。静岡県ボランティア協会理事。静岡県被災者支援アドバイザー。東日本大震災以後、被災地での生活再建支援の活動や、津波防災を含む市民や企業向け講演活動に従事。NHKと共同制作した『避難生活＆住宅再建ガイドブック』や、運営する『ひばさ』(被災者支援情報さばーとページ)からは支援情報ツールがダウンロードできる。著書に『避災と共災のすすめ 一人間復興の災害学』(帝京新書)、『みんなの津波避難22のルール 3つのSで生き残れ!』(合同出版)など。



■ 定員：会場先着50名、オンライン先着100名

(※「被災者生活再建カード」の体験について、会場参加者は大学で印刷したものでグループで使用、オンライン参加者は個人で手元に印刷して参加頂きます。)

■ 申込期限：3月6日(金)

■ 申込方法：申し込みは次のアドレス、QRコードのいずれかからエントリーが可能です。

<https://forms.gle/tEqLLLtUnYjeVf3Y7>



タイムテーブル

司会・全体コーディネート 徳島大学人と地域共創センター特任助教 井若 和久

12:30 開場・受付

13:00 開催挨拶 徳島大学環境防災研究センター副センター長 上月 康則

13:10 第1部 最新の被災者支援制度を知ろう

内容：「被災者支援制度についてカードを使いながら楽しく学ぶ」

講師：日本弁護士連合会 災害復興支援委員会 副委員長 永野 海 氏

14:40 第2部 被災者の生活再建支援を考えよう

内容：「ある被災者の生活再建をカードゲームで考える」

「被災者支援に必要なマインドや災害ケースマネジメントを知る」

講師：日本弁護士連合会 災害復興支援委員会 副委員長 永野 海 氏

16:20 閉会挨拶 徳島大学人と地域共創センター特任助教 井若 和久

会場ご案内図 P 会場北側に駐車場もございます。



徳島大学・美波町地域づくりセンター[井若]

〒779-2103 徳島県海部郡美波町西の地字大谷48-1(美波町地域共創センター)

TEL&FAX: 0884-70-1274 MAIL:tokushima-minami@tokushima-u.ac.jp

問い合わせ先